

科目名：保育方法・技術（必修 4単位）		担当教員名：小山田 佑奈 福眞 律子	使用テキスト： おとなのためのピアノ教本
		指導形態：クラス分け・オムニバス	I（ドレミ楽譜出版）
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法、及び生徒指導、教育相談等に関する科目	施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
【授業の到達目標及びテーマ】 幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえた具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。			
【授業の概要】 幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を踏まえた指導の視点を捉えるとともに、保育内容・方法について理解する。また、保育内容を充実させるための手だてとして保育方法の技術（素話・絵本・ペープサート・折り紙製作・弾き歌い等）を実技及び全体討議を通して学生一人ひとりが身に付ける。			
回	項 目	内 容	
1	・オリエンテーション ・保育方法の基本とは何か（小山田佑奈）	冒頭で授業の概要を説明する。 保育方法の原理や保育実践の魅力について学ぶ。	
2	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	乳幼児と仲良くなり、乳幼児と保育者の信頼関係を築く為の工夫を考える事の重要性を学ぶ。	
3	・乳幼児の理解と保育方法について ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	幼児の内面的理解を踏まえ、子どもたちに求められる資質・能力は何かを探り、そのための教育方法（主体的・対話的で深い学びの実現）について考える。 4月の折り紙指導をし、各自完成させる。	
4	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	保育方法の手立てとしてのピアノについて、鍵盤・手の形・椅子の座り方・楽譜の読み方を学ぶ。	
5	・環境による保育、子どもにふさわしい園生活の展開について ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	幼児にとって環境の持つ意味や環境を構成することの意味（ねらいや内容）、環境の再構成と保育の創造について学ぶ。 4月の製作を発表し、臨床美術の観点からそれぞれの作品鑑賞と意見交換をする。5月の折り紙指導をし、各自完成させる。	
6	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	楽譜の読み方や記号などを学び、季節や年齢にふさわしい歌や曲を学ぶ。	
7	・発達の時期に応じた保育の在り方 ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	入園当初、園生活に慣れてきた頃、卒園を前にした時期などのそれぞれの時期に応じた保育について学ぶ。 5月の製作発表し、作品鑑賞と意見交換を行う。6月の折り紙指導をし、完成させる。	
8	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	音程と音階の基礎について学ぶ。	
9	・行事を生かした保育の展開 ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	園生活の中の行事とは何か、また、行事を計画する手順について学ぶ。七夕や夏祭りについての園行事を想定して7月、8月の折り紙指導をし、完成させる。6月の製作発表と作品鑑賞・意見交換を行う。	
10	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	子どもが歌う声域に合わせた演奏について学ぶ。調と移調の理解。	
11	・子どもにふさわしい園生活の展開とは ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	幼児にふさわしい生活の展開とは何かを理解する。また、柔軟で多様な保育形態や一日の生活の展開について学ぶ。 7月の製作発表と作品鑑賞・意見交換を行う。	
12	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	季節や行事の歌、動物や食物など、日常の身近な題材を歌った音楽教育が子どもに与える影響について学ぶ。	
13	・幼児理解に基づいた評価 ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育者の成長や保育に対する省察について理解を深める。育みたい資質・能力、幼児理解に基づく評価とはどのようなものかについて学ぶ。8月の製作発表と作品鑑賞・意見交換。9月の折り紙指導、完成。	

14	・保育における個と集団とは①（福眞律子）	さまざまな子どもの姿を通してかかわりの育ちを中心に、集団の育ちについて考える。
15	・幼児の心をひきつける（ペープサート） （小山田佑奈）	「ペープサート」の目的、原理、製作法について学ぶ。「ペープサート」のグループ製作・「ペープサート」の演じ方・「ペープサート」のグループ毎の発表と評価について学ぶ。
16	・保育における個と集団とは②（福眞律子）	さまざまな子どもの姿を通してかかわりの育ちを中心に、個の育ちについて考える。
17	・子どもの情報活用能力及び情報モラルの育成 ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	子どもたちが葉っぱをコンピューターグラフィックで描く等、子どもの情報活用能力を養う指導方法を学ぶ。また、情報モラルの涵養の必要性と指導方法を学ぶ。更に保育者のドキュメンテーションの大切さも学ぶ。9月の製作発表をし、作品鑑賞と意見交換をする。
18	・保育者の成長と保育実践の深まり （福眞律子）	各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育者の成長や保育に対する省察や研修について理解を深める。
19	・保育現場における情報機器の活用 （小山田佑奈）	園だよりやお知らせなど情報機器を駆使して作成する方法を学ぶ。また、情報機器を使った教材を作成する。
20	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	幼児期において音の与えてくれる楽しさについて学ぶ。
21	・保育現場における情報機器の活用 （小山田佑奈）	園だよりやお知らせなど情報機器を駆使して作成したものを発表する。また、情報機器を使って作成した教材を発表する。
22	・発達の時期に応じた保育のあり方① （福眞律子）	事例を通して、0・1・2歳児の発達のとらえ方を学ぶ。
23	・家庭、地域、小学校との連携を生かした保育 ・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	家庭や地域、小学校との連携が生かされる保育について学ぶ。 10月、11月の折り紙指導をし、完成させる。
24	・発達の時期に応じた保育のあり方② （福眞律子）	事例を通して、3・4・5歳児の発達のとらえ方を学ぶ。
25	・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	10月、11月の製作発表、作品鑑賞・意見交換をする。 12月、1月の折り紙指導、完成。
26	・幼児の心をひきつける（福眞律子）	絵本や紙芝居に効果的な音について考える。
27	・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	12月、1月の製作発表。2月、3月の折り紙指導、完成。 折り紙・ピアノを用いた指導案作成。
28	・幼児の心をひきつける（指人形） （福眞律子）	「指人形」の目的、原理、製作法について学ぶ。「指人形」の製作・「指人形」の演じ方・「指人形」の発表と評価について学ぶ。
29	・幼児の心をひきつける（年齢別折り紙製作） （小山田佑奈）	2月、3月の製作発表。折り紙・ピアノを用いた指導案完成。
30	・幼児の心をひきつける（紙芝居） （福眞律子）	「紙芝居」の目的、原理、製作法について学ぶ。「紙芝居」の製作・「紙芝居」の演じ方・「紙芝居」の発表と評価について学ぶ。
31	・総合演習（幼児の心をひきつける） （小山田佑奈）	（保育方法・技術＋音楽・ダンス）グループでお内裏様やお雛様の着物づくり等を行う 弾き歌い、歌唱、ダンスなどをグループで考える。
32	・総合演習（幼児の心をひきつける） （福眞律子）	（保育方法・技術＋音楽・ダンス） グループでの発表。
	期末試験	

参考書・参考資料等： 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針 幼稚園教育要領（平成29年3月告示）

学生に対する評価方法： 期末試験、課題等の総合評価